

月刊

ひでかひ



9

今月のしでかし

8月23・24日に水上温泉にて、吉成圭子最後のFCイベント「温泉ツアー」が行われました。遠征スタッフとして定着した今爺・Show-go・本田君の3人と受付を済ませ、一服したり汗を流したり、機材を運んだり(笑)した後、お食事 TIME。でも、圭子ちゃんはいないし、スタッフもいなくなるのでただ食べるだけ。それでも乾杯だけはと思ったが、今回飲み物は別途料金となっていたので手元になにもない。しょうがないのでお刺身用の醤油で乾杯することにした。最後のイベントにピッタリの辛(から)いスタートとなった。食事の間を利用して、この後の質問コーナーの題材を紙に書く。しののツアーと全く展開が一緒である。スタッフが全く一緒のため、しょうがないのかもしれない。ちなみにマネージャーかアルバイトは？の声も1部では上がっていたようだ(笑)。お腹一杯になった頃に圭子ちゃん登場。挨拶の後、いきなり質問コーナーの始まり。内容は「水上でちゅうちゅうちゅう新聞」をどうぞ。



7年の間に生まれたさまざまな疑問点、解決出来たでしょうか？
ますます疑問点が増えたという声もあるとか無いとか。圭子ちゃんとファンさんのつきあいも長い物で、ほとんどの名前と顔を覚えてるようだ。端の方から名前を言っていく圭子ちゃん。所々に苦しんで「最初の一文字」とヒントを要求するも、次々とクリアしていく。流石ですね。でも、本名じゃない名前も多かったようだ(笑)。次から次へと質問に答える圭子ちゃん。気が付けば既に時計は9時。このコーナーで終わってしまうのかと思ったぞ。次のコーナーはカラオケ大会。圭子ちゃんとジャンケンして勝ち残った方とデュエット。曲は備え付けのレーザーであった。4曲熱唱した後、次のコーナーは三本締めである(笑)。あっという間に終わってしまった宴会であった。これでお休みと思ったら、「部屋にいて下さい」との圭子ちゃんのアナウンス。各部屋を廻ってくれるとのこと。しばらくすると、麻雀牌を持って現れる。牌を使ったビンゴゲームだ。適当に2個ずつ牌を取って、残った牌から圭子ちゃんが引いていって、それが一致した方が勝ち。麻雀牌セットが送られた。

最後にお休みツウショットボラを撮って本日は終了。2日目の一発目は撮影会。風が強くて大変でした。午後からはゲーム大会やステージで盛り上がりました。最初はイントロクイズ大会。正解者にはサイン色紙・不正解者には墨というルールだが、なかなか不正解者が出ないので、簡単すぎると圭子ちゃんからクレーム(笑)。省吾も苦労しているようだった。続いて質問コーナーの続き。まだあったようだ。次は歌詞当てクイズ。なかなか墨を塗ることが出来ず、圭子ちゃん少し不機嫌だったかもしれない。最後に歌のコーナー、そして握手会で、お別れになりました。笑顔でお別れしたいと語っていました。



今月のきゃ～んぺ～ん

圭子ちゃん最後のアルバム「ちゅう・ちゅう・ちゅう」が10月25日に発売されますが、その先行予約キャンペーンが行われました。まず、9月21日にヤマギワ名古屋 LOFT にて行われました。進行はミニステージ、トークショー、握手会となっております。司会の中野さん(笑)。マイクを持つ姿が似合っていました。圭子ちゃんが登場するなり、いきなり『夜汽車でチュウ・チュウ・チュウ』を熱唱。続いて『瞳の中のグッバイ』『青い空の下で』の2曲を熱唱と思ったら、なかなか曲が出てこない。そこで場つなぎでお喋り。髪の毛を自分で切って、失敗したそう。『写真撮影禁止でよかった』と語っていたが、ポラがあるんですね(笑)。『青い空の下で』ではピコピコハンマー隊が登場、圭子ちゃんも思わず吹き出して、歌詞が飛んでしまいました。この後ジャンケン大会。勝ち残った方はツウショットポラ。3人の方がゲットしました。「この後は握手会」との言葉に、「トークコーナーは？」との突っ込みが。結局質問コーナーになりました。でもお客さんはなかなか手を挙げない(笑)。前もって紙に書かないと駄目な癖が付いてしまったようだ(^)。アルバムが出る頃には日本にいないと思うけれど、これを見て思い出して下さいね。と語っていました。握手会ではサイン色紙付き。いろいろな会話が交わされたようだ。お客さんの数が予想より多かったらしく、前もって書いていたのが足りなくなってしまう、ピコピコハンマーでたたかれてしまいました。9月23日には大宮アルシェでキャンペーン。これが本当に最後のイベントです。(だぶん(笑)) こちらもかなりのお客さんが集まりました。進行は名古屋とほぼ同じ。この会場はかなりのイベントを行っているらしく、定員の手慣れた司会で進みました。圭子ちゃんもトークが弾んでいました。人前で話しをするのがあまり好きではない圭子ちゃん。でも「ファンさんの前では気楽にはなせる」そう。ここでもツウショットポラロイド。フィルムがある限りということで、8人の方がゲット。今回は整理番号の抽選で選ばれました。握手会では、ピコピコハンマーが差し入れされるといきなりジャンケン始める圭子ちゃん。でも負けてしまいあわてて頭を色紙でカバーしていました。次からのお客さんともジャンケン始める圭子ちゃん。ゲーム大会に変わってしまったようだ。それでも負け続ける圭子ちゃん(笑)。5人目でようやくジャンケンに勝って、ハンマーでたたく事が出来ました。すると、通常の握手会に逆戻り。ようは圭子ちゃんがたたきたかっただけのようだ(^;)。



今月のしでかし

8月27日から9月1日にかけて、制服向上委員会 in NewYork “First Challenge” が行われました。参加メンバーは本田・菊地・橋本・斉藤・井上・宮田・小林・松井の8名。ちなみに参加スタッフは中野・和田・阪口およびホットスタッフから2名。参加客は51名。飛行機に揺られて行って来ました。見送りメンバーは川野・中井の2名とスタッフが池谷さん。特製パンフレットとTシャツを受け取って、12時間の空の旅につきました。現地に着いて、シャワーを浴びる間もなく最初のイベント「チョットと気取ってディナーパーティ」の開始。メンバーと同じテーブルで会食をするので、まずその班分けが行われる。今回は受付番号順に希望メンバーを聞いていく。メンバー1人につき7名までしか入れないので、順番が後の方々はハラハラしていたようだ。名簿を読み上げていく中野さん、最後に名前を呼んだ方の反応がない。繰り返し呼び出す中野さんだが、実は添乗員の名前であった。班も決まってさあ入場、と思ったらまだ準備中。公式発表は、ひろぼんが英語の勉強中ということになっていたらしい。パーティはメンバーとの会食を楽しんだ後、SHOW TIME へ。メンバーはデザートを食べられずに哀しそう。直美ちゃんと美緒ちゃんの怪しい関係が暴露されていた。二日目はバスツアー、2台に別れて市内観光。そのままバッテリーパークで撮影会へ突入。朝から降っていた雨もこの時だけ止み、中野さんは「神懸かり」と感動していた。メンバーも楽しみにしていた自由の女神が、遙か彼方にあつたのが残念だった。夕方は anime crash にてキャンペーン。日本のアニメのキャラクター商品を大量に取り扱う怪しい店だった。「制服宣言(英)」と「地球に愛を」を熱唱しました。自己紹介は日本語でしたが、m cは英語で。必死にがんばるひろぼんと、逃げるゆっきいが印象的でした。あたたかい通訳さんのおかげで(?)、好印象に終わったようだ。終了後、現地人の方々が大量にCDを買い込んでいた。3日目はセントラルパークにおけるボランティア活動。ゴミ拾いやペンキ塗りと聞いていたが、農作業に変わっていた。成田で貰ったTシャツを着込んだ方々が必死で作業をしていました。待ち時間が多かった直美ちゃん、中野さんの目には1番働いていたように写っていたようだ。疲れが抜けないうちに、Cooler にて寿隊 & SK i のジョイントライブ。現地の方もかなり入って、盛り上がっていました。こちらのm cもすべて英語。紙を見ながらたどどしく話すゆっきい。読み終わった後、速攻で逃げていった。『最中は最高』の踊りで、直美ちゃんが久子ちゃんにパンチした瞬間、その衝撃波で(笑)SK i の垂れ幕が落ちてしまった。寿隊12曲の後、SK i のライブ。着替えている間に、美香ちゃんやひろぼんが唱歌を熱唱。全員揃ってからも続く唱歌、アカペラも交えて会場に響きわたりました。今回の自己紹介は全員英語で。SK i では17曲、3時間弱のライブであった。4日目はSt.john The Divine 教会におけるパフォーマンス。アカペラで唱歌を斉唱しました。最初はかなり緊張していて声も震えているようでしたが、次第に熱がこもってきて、素晴らしいハーモニーを奏でていました。聖堂に響く歌声に、感動を覚えました。この後はお散歩TIMEなのだが、その班分けでみんなが驚く班編制になってしまいました。その為どれが自分の班かを当てさせる、お試し企画が生まれてしまいました。でも4日間も顔を合わせていると、さすがに間違えは無いようだ。唯一戸惑っていたのがひろぼん。可愛そうに(涙)。○○さんって、本当は○ちゃんが好きな癖に…。



お散歩TIMEの後は撮影会。NYでのパフォーマンスをすべて終えて、緊張から解きほぐされたメンバー。のびのびとしていて、表情も良かったです。良い写真が取れたかな？サエキさんまたまた荷物番、ありがとうございました(笑)。そして、ニューヨーク最後の夜はフェアウエルパーティ。ここではお客さん一人一人と対談。ニューヨークの感想を聞いていました。このツアーが海外初めてと言う方もかなりいたようです。メンバーの感想もありました。ラストはSK iオンステージ、メンバーはまたデザートを食べれませんでした。なのに、『終章～エピローグ』で、フォークにイチゴを刺して手を振るお客さん続出。ゆっきいの目は、左右に動いていたようだった(笑)。最後に握手会でお別れ。涙を堪えながら、笑顔で言葉を交わすメンバーもいて、感動的な握手会になったようです。握手会の後に、和田さんの好意もあって、ひろぼんにリーダー就任1周年のお祝いを述べる。持って帰れないので、お花は出さなかったのだが、気持ちちは伝わったようだ。今年もまたリーダーとして頑張ってくれるそう。応援しようね。5日目は空の旅。あっという間に過ぎた、夢のニューヨークツアーでした。



今月のしでかし

8月30日に立川の昭和記念公演にて、しのさんとピクニックが行われました。ニューヨーク公演と重なった為、申込者38名のうち参加者は30名ちょうど。プライベートライブでは抽選になるのに何でイベントだと少ないんだろう？イベントの方が楽しいのにね。

温泉ツアーに続いてスケッターとしてメグも参加。しのの一言の後「紹介されていませんが久保愛です。よろしくお願いします。」まず、班分け。5名ずつA～F班まで区分け。さあ、出発！高尾山とは違って坂道じゃないから辛い事はないけど、5分も歩かないうちに休憩。お話しタイム。すかさず上げられるファンさんの用意したシート。このシートはその後にも休憩の度に使われて重宝したようだ。ここでの話は、ピンクのビキニを買ったけどまだ着る機会のないこと、朝来るときに変なおじさんに声かけられて高校2年生って言ったこと等盛り上がってました。15分程のお話しタイムの後、移動。また10分くらい歩いて休憩15分（笑）。ここでアイスの差し入れ。アイスガイを売ってました。この日はとても暑くてアイスをいくつ食べても足りないくらいでした。大広場に到着すると、午前の部最後にしのさんとバレーボール。しのはA、B、C班、メグはF、E、D班の順にスタート。初めのうちは真面目にやってたけど、暑い！。周りに日陰もないので、すぐばてる（笑）。結局ひと班10分の時間のうち半分はお話しタイム（休憩）となってたようだ。昼食はお弁当、いつもコンサートの時に注文している業者のものだそう。大広場の脇の木陰のある場所に戻って昼食タイム。で、結局お話しタイム。ここからの話の内容は放送禁止用語が乱発するので書けません（笑）。ひとつだけ例をあげると、しのの好きな車は？の質問に、しのの家にあるような車との答え。当然車種は？と質問される。するとしのが、まわりのファンさんに「うちの車の名前なんていうんですか？」と聞く（爆笑）。この日のしのは終始機嫌が良かったです。午後から各班ごとに集合及びツーショットスチール。しのが撮影をしている最中、メグと話していたあるファンさんへ国際電話が。すかさず電話はメグのもとへ。「何でニューヨークにいるんですかあ？」メグのするどい一言に、国境を越えて大爆笑。この日のメグも終始機嫌が良かったです。撮影の後もお話しタイム（笑）。ここでは午前のバレーボールの続きで、しのがD、E、F班、メグがA、B、C班と話してました。話の内容は更に濃くなる（笑）ので省略です。大広場に戻ってゲーム大会。始めにしのはら杯ドッジボール大会。班別のトーナメント方式。真剣にするファンさんがいて、眼鏡がまがったりとか、指を骨折したりとか怪我人続出の危険な大会でした（笑）。結果はE班が優勝、賞品はメグをまじえて集合写真。次にABCドリブル。優勝はB班。これも賞品は集合写真。あんまり賞品のことは考えてこなかったな（笑）。ここで休憩。休憩中に次のゲームを考えるスタッフ（笑）。やっと決まっていかなかった反応しないファンさん。暑いしゲームをやろうという気合いは入らない。そうはいっても次のゲームにしたらと進行。賞品はしののマッサージと決まった靴飛ばしで、一番飛んだ人が優勝。最後にスプーンリレー。ドッジボールの優勝班のE班が再度勝ったので、賞品を何にするか困り、検討された結果サインとなりました。後は、入り口まで移動。途中ではくれるしのと清美ちゃんを囲むファンさん。拉致しちゃえ～。ショーゴが来た。残念（笑）。なんてことしながら到着。最後に入り口で偶数番号の人は写真+握手。奇数番号の人は握手で終わりました。

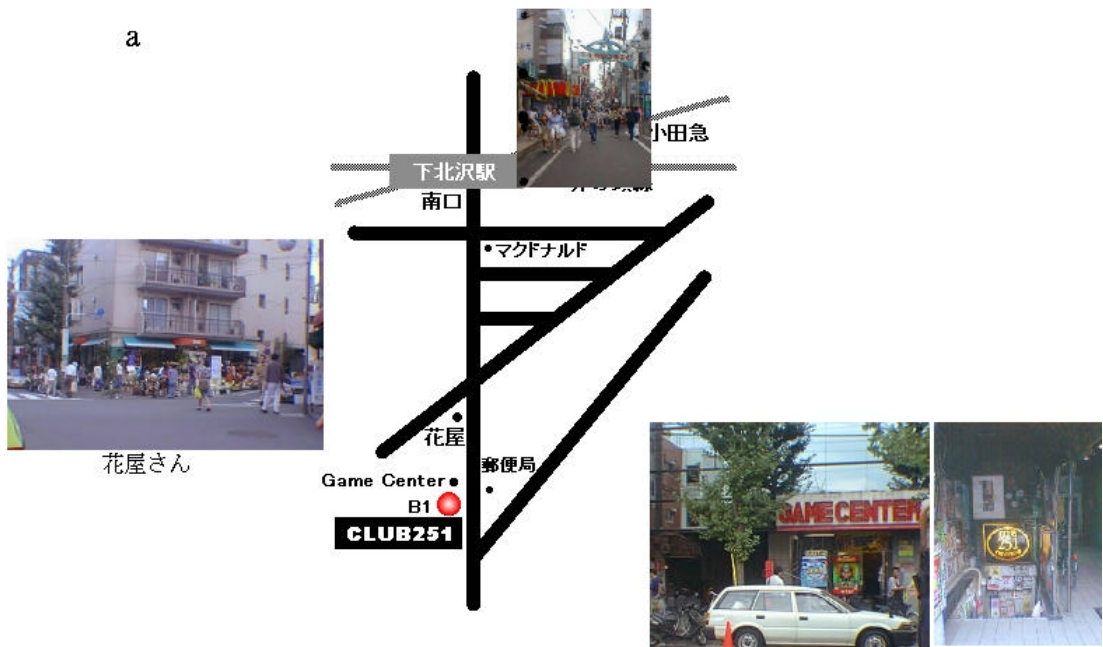
9月14日には芝浦の東京ベイスタジオにて、篠原智子プライベートライブがありました。受付を終えて、中野さんの号令とともに、会場へとエレベーターで登る。が、まだリハーサル中ということで、またまた受付場所まで戻ることになった。中野さん、相変わらずです。再び入場してしばらくすると、BGMが止んで『小さな秋』のイントロが流れ始めました。が、しのがなかなか出てこない。1小節終わってようやく登場。ハラハラするお客さん達であった。オープニングは唱歌でまとめるしの。今日は落ち着いた感じで行くとのこと。でも、そこはしののことだから、すぐ吹き出してしまう。こちらも相変わらずの様だ。mcもまだまだ苦手にしてるようで、「お話ししましょう」とお客さんに振っていた。衣装は自前の私服だそうで、中3の時にいとこの結婚式に着ていった物だそう。それがピタッな物だから、成長していない！と突っ込みを受けていた。あと2・3着あるそうなので、機会があれば披露してくれるそう。楽しみにしよう。ピクニックの話になり、バレーボールで左腕に痣ができて、湿布して包帯をグルグル巻きにしていたら、友達に「自殺したの？」とか聞かれたらしい(笑)。後は、暑くて大変だったようだ。一部のお客さんは、ピクニックをドタキャンしてニューヨークへ行ってしまったようだが、しのは外国に行ったことが無いとかで羨ましがっていたようだ。お土産は貰ったのかな？食欲の秋ということだがまだ甘栗は食べていないそう。しのは辛いのが大好きで、キムチがあれば丼一杯ご飯が食べられるとのこと。カレーうどんにも唐辛子を沢山いれるそう。おかげで、毎日食べていた梅干しに禁止令がでるほど高血圧だそう。ステージの方は、今回も客席からバックダンサーを募集。『傷だらけの青春』をリハーサルを一人でやって、最後をどうしようか悩んでいたらしい。踊ってもらって喜んでいただろう。これからはもう希望者は聞かないそうで、踊りたい曲があればどんどん来ていいそう。 「これがプライベートライブです」と語っていた。間もなく成人式だが、「振り袖姿をファンの方に撮って貰えば？」と母に言われたそう。写真屋さんより愛情がこもっているからというのが理由らしい。「なにかイベントあればいいなあ」と語るしのでした。あっという間に時間も過ぎ、終わりの時間が来てしまいました。アンコールは無しということだったが、客席から「シューアイスの歌」とリクエストされると、即席に歌い出すしのでしたが、何処かで聞いたことのあるメロディーであった。最後に握手会でお別れになりました。先月号の表紙を見て一言、「この顔ヤバイですよ。」だって！



来月の箱

10月22日～25日にかけて、下北沢 Culb 251にて「SK が見つけた小さい秋」

“ACOUSTIC NIGHT'S FIVE-DAYS”が行われます。京王井の頭線及び、小田急線・下北沢駅下車、徒歩5分にあります。南口の階段を下りて、進行方向のマクドナルドと富士銀行の間を抜け、道なりに進むとお花屋さんが正面に見えます。そこを左に曲がった先の右手にゲームセンターがあり、その建物の地階にCulb 251があります。向かいに郵便局がありますので、目印にしてもいいでしょう。では、行ってらっしゃい。



吉成圭子、引退します。

いつまでも、心のアルバムにしまっていてね。

